

# ガンシン70年の 歴史

1948-2018

創業してから今に至るまで、70年が経ちました。  
ガンシンの歴史を写真とともに振り返ります！



1948年  
(10月)

岩国港湾運送株式会社設立

岩国港湾運送株式会社と  
岩伸海運株式会社が合併し、  
株式会社ガンシンに社名変更  
室の木営業所(クレーン部門)を開設



本社社屋を岩国市  
飯田町二丁目9番12号  
(現在地)に新築移転



関連会社として  
ガンシン商事株式会社を設立

平生支店を柳井市に移転し柳井支店を開設



土木部港湾作業所を開設



土木部柱島事務所を開設

北海道旅行

1967年  
(6月)

岩伸海運株式会社設立  
熊毛郡平生町に平生支店開設

1973年  
(9月)



1975年  
(5月)

宇佐神宮初参拝

1981年

1984年  
(10月)

株式会社池田工務所を合併  
土木部を移転統合

1986年  
(11月)

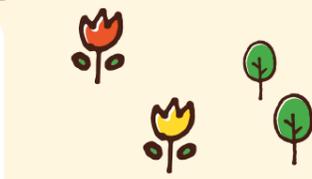


1987年  
(7月)

1988年  
(3月)

(11月)

1990年  
(5月)



1991年  
(6月)

沖縄旅行

1992年  
(5月)

北海道旅行



1993年  
(5月)

台湾旅行

1995年  
(1月)

ロゴマークを変更



岩手、宮城旅行



1996年  
(5月)

関東旅行



1997年  
(1月)

土木部港湾作業所を廃し  
港湾部を開設



(8月)

土木部尾津作業所新築移転



(11月)

柱野車両機材センター開設



1998年

関連会社ガンシン商事株式会社の社名を  
ガンシンテック株式会社に変更

2001年  
(5月)



2002年  
(3月)

ガンシン 50周年



ISO9001を取得(港湾部 土木部)

2006年  
(5月)

平生町に  
環境事業部を設立

四国旅行



2008年  
(4月)

平生町から柳井支店  
に環境事業部を移転

2009年  
(9月)

港湾部・土木部  
を廃し建設事業  
部を開設

2012年  
(1月)

ISO14001を取得(港湾部 土木部 クレーン事業部 柳井支店)  
OHSAS18001を取得(港湾部 土木部)

事業継続計画(BCP)の認定を取得

2013年  
(2月)

ガンシン 70周年旅行



2018年



ガンシンの歴史はまだまだ続いていきま  
す。これからも、素晴らしい会社を自らの  
手で創っていけるよう、みんなで頑張っ  
ていきましょう！



# 木下 貴史

代表取締役

（前編の続き）  
東京の建設会社を退職し、地元・岩国に戻った木下貴史は、2001年（平成13年）1月、株式会社ガンシンの専務として新たなスタートを切った。いくつもの困難を乗り越えられたのは、不断の努力と周囲の支えがあったからだ。

## 頼もしい地元のネットワーク

ガンシンの事業は海運会社として港湾運送、港湾荷役を皮切りに輸送部門、クレーンリース部門、一般土木部門、港湾土木部門、特殊工事部門（土留工事・重仮設工事）さらにはゴルフ場経営まで多岐にわたり、同じ建設会社でも前職とはまったく異なるものだった。周りの社員が当たり前前にこなしている仕事を、一つひとつ覚えていかなければならない。さらに専務という立場上、経営や財務についても勉強する必要があり、課題は山積みだった。だが、ここはアメリカでも

東京でもなく、生まれ育った街。木下には心強い仲間がいた。地元の経済界の集まりに知り合いを通じて参加させてもらい、お客様とコネクションを持った。気軽に相談に乗ってくれる会社経営の先輩もいる。苦労は多かったが、知らない土地ではないという安心感が木下の心を支えていた。

## 「父と息子」からの変化

岩国に帰ってきてからは、父との関係にも変化があったという。

「アメリカへ留学したときも、それまでの社会人時代も、父親を父親として見ていました。ですが入社してからは、ずっと社長と専務の関係ですね」。

何十年も会社を背負ってきた先代社長に若造が見えるのは、生意気に思えたに違いない。意見の食い違いからひどく叱られた記憶もある。そこには父親としての顔ではなく、会社と社員を守る毅然とした

先代の姿があった。

先代の手腕で最も驚かされたのが、初めてお客様訪問に同行したときに見た決断の素早さである。当時の自分には「二度持ち帰って検討します」としか言えない話を次々と即決するため、「本当に大丈夫なのか」と横でヒヤヒヤすることすらあった。しかし先代には、社員の実力を信じる力と豊富な経験により裏打ちされた自信があったのだ。

## 工期より長い手続き

東洋紡株式会社から感謝状が贈られたのは、2017年のことだ。あるプロジェクトの成功を表彰されたのである。

それまで引き受けた港での工事は公共工事のみで、通常、役所の担当者が必要な手続きを済ませた上で発注しており、ガンシンは施工のみを担当すればよかった。

「このプロジェクトに携わるまで、港での工事にはこれほど

多くの制限があり、何をしても許可が必要だとは思ってもみなかったです」。

たとえば、工事用の船を入港させるために海底を掘るとなれば、海図の変更が必要となり、許可を取るには有識者会議での審議を通らなければならぬ。工事以前の作業にも複雑な手続きがあり、非常に多くの時間を要した。

「正直なところ、『本当にできるのかな』と不安が頭をよぎることもありました」。

そんな木下に、地元の仲間は手続きに詳しい人を紹介してくれた。みな親切に相談に乗ってくれる人ばかりで、不思議と出会いに恵まれたようだ。

一歩ずつ踏みしめるように前進を続けた結果、2年と数か月にわたる手続き期間と7か月の施工期間を経て、プロジェクトはようやく完遂された。ガンシンに相談を持ちかけてくれた東洋紡に協力できたのが、何よりも嬉しかったという。

## 70周年を迎えて

昔から時代に合わせた取り組みを試してきたため、社員にはその時々で迷惑をかけてしまった。それにもかかわらず、理解を示しともに乗り越えてくれたことに、改めて感謝の気持ちを伝えたい。

「無事70周年を迎えられ、社員とご家族、今まで退職された方々も含めて、皆さんに感謝申し上げます。そして次の71周年、72周年を迎えるべく、今後一歩ずつ確実に前進する会社を目指すつもりですので、思いを一つに仕事に取り組んでいただけなら嬉しいです」。

社員が活躍している姿を見る度に、社員とその家族を守るといふ決意を新たにしている。

自分を支えてくれる社員と地元への感謝を胸に、木下はこれからもガンシンを力強く牽引していくだろう。

### 企業情報

- ◆ 設立年：昭和23年10月
  - ◆ 年商：20億円
  - ◆ 従業員数：90名
- （※平成30年12月時点）



マークは無限大=永遠（∞）を表す流線型の中央部分に社名の頭文字Gを配置、かつ発展の礎となった岩国港を表現。白色部分は順風満帆の船を象徴。シンボルカラー（3色）は港湾、土木、重機・輸送の各部門間の連携強化、総合力の発揮を表している。